

地域の現状

当地区は、霊峰飯豊山の登山口として、また、「蕎麦処山都町」として、年間30万人以上の観光客が訪れています。(主)喜多方西会津線の広野地区では、道路空間を利用した様々なイベントを開催し、地域と行政が一体となった町興しに取り組んでいます。

また、官民一体となった道路点検や検討会等を開催しており、地域の意見を反映させながら、安全で快適な道路整備に取り組んでいます。地域ではイベント等を開催し、交流人口の確保に努めていますが、休憩施設等の広場や公衆トイレが無く、観光客が不便な思いをしています。

地域づくりのあゆみ

平成16年

- ・みちくさ通りの整備検討会を開催
- ・交流広場の整備を開始(用地・整地)

平成17年

- ・休憩施設(トイレ、駐車場路盤)の整備

平成18年

- ・休憩施設(舗装)の整備
- ・案内標識の整備
- ・うつくしま道のサポート制度の締結

実施した感想

(県担当者)

■地域の声で整備され、休憩施設も活用され、行政側としても良かったです。

(町担当者)

■施設のおかげで、地域の元気が出てきたと思います。

(地区住民)

■整備後に県からの連絡がありません。終わったあとも必要なのではと思います。

元気づくりの立役者たち

みちくさイベント



山都そば



飯豊山



事業の効果

■地域イベントによる交流人口の拡大

- ・休憩施設を整備することにより、概ね月一回ペースで開催されている各種イベントによる交流人口が拡大し、沿線商店街が活性化しました。
- ・一の戸鉄橋のライトアップの休憩所として利用されました。
- ・お盆期間には6,000人の盆踊りが開催されています。
- ・みちくさ通りなど、観光客を山都町市街地に呼び込むイベントを開催しています。
- ・情報拠点を整備することにより、「みちくさ通り」から山都町全域へ交流人口が広がっています。
- ・冬期は広場の樹木を利用し、イルミネーションを実施しています。
- ・休憩施設を利用した朝市等を開催し、地域の特産物の販売と広告を実施しています。
- ・夏場に野菜の朝市とビアガーデンを開催しています。

みちくさいvent



一の戸鉄橋ライトアップ



6000人の盆踊り



ビアガーデン



地域の課題・今後の展望

(伊藤義雄さん)

■地域人口の減により、商店街に活気が見られない昨今ですが、交流広場を十二分に活用して集客に努力し、そばまつり、福寿草まつり、ライトアップ等イベントの盛り上げに活用したいです。

(市担当者)

■地域の若い人たちは会社勤めで地域の人たちと一緒に活動する機会が減っていますが、交流広場の活用等により様々な年代の人たちが話し合う場づくりができれば地域活性化に結び付くと思われます。さらには、他地域の人たちとの結びつきにつながられれば良いと思ひます。



整備内容及び利用状況

交流広場整備(みちくさ広場)



利用状況



整備後

利用状況

- ・朝市やビアガーデン、みちくさ通りのイベント開催時に使用しています。
- ・磐越西線のSLの観賞用の場としても活用しています。

(利用者の声)

- トイレ・小さな広場もあり、子供も安心してSLを見たり出来て良かったです。
- 6000人の盆踊り
H19：1,050人
⇒ H20：2,800人
- 喜多方市街地の「ふれあい通り」や「小田付通り」のイベントの盛り上がりの先例となっています。

管理状況

- ・平成18年11月にうつくしま道のサポート制度を山都町商工会女性部と締結（喜多方西会津線L=1,158m、会津坂下山都線L=163m）し、日常管理を地元住民が実施しています。



関係機関

- 福島県 喜多方建設事務所 企画調査課
- 喜多方市 山都総合支所 建設課

TEL : 0241-24-5707
TEL : 0241-38-3851